

4 ネクストステップ研究費 女性リーダー育成



教員（女性のみ）

（1）趣旨

世界トップリーダーたる女性リーダーには常に新規の研究課題の探索と遂行や研究成果の発表・公開が強く求められ、同時に外部資金の獲得が責務である。その第一歩として、科研費への応募は不可欠であるが、当該年度において不首尾になることもある。本支援はそれらの方々に対しその研究への着手と内容の精選のために、年度限定で行い、再挑戦での成功を期すものである。

（2）プログラム内容

他に外部資金を得ていない新規の研究課題の遂行や、情報収集・研究成果の公開に必要な研究費の支援を行う。

- ◎ 科研費に申請し不採択になった者で評価が「A」または「B」の場合支給額は上限 50 万円/年、評価が「C」の場合支給額は上限 15 万円/年とし、申請内容に基づき決定する。
ただし、予算状況、他のプログラムでの採択状況により、減額となる場合がある。
- ◎ 第1回は5月に公募を行う予定であるが、評価が「A」、「B」の方を優先する。
- ◎ 第2回は9月に募集を行う予定であるが、その実施は第1回の採択・予算状況に依る。
第2回の募集を行う場合、第1回目の採択者は応募不可とする。
- ◎ 当該研究費は下記に挙げるような、研究遂行に直接必要となる経費に充てるものとする。
 - ※学会参加登録費
 - ※研究遂行に必要な備品や消耗品等の購入、補助者・被験者等への諸謝金・給与
 - ※研究成果の公開に必要な論文投稿費や、英文校閲に係る費用
 - ※研究遂行に必要な旅費

（3）申請資格

本学を**本務**とする^{*1}女性教員（准教授、講師、助教、助手）、特任研究員（PD/RPD/CPD）、日本学術振興会特別研究員（PD/RPD/CPD）、ただし特任教員（運営）及び、外部資金のみによる雇用で当該資金への専従義務がある者を除く。

^{*1}他機関を主所属とするクロスアポイントメント制度適用教員等は対象外とする

- ◎ 当該年度に計 200 万円以上の競争的資金（学内経費含む）を有する者は申請不可とする。
- ◎ 2026 年度科研費に申請し、不採択となった者で、その評価が「A」、「B」、「C」であることを条件とする。
- ◎ 2026 年度科研費で複数種目に申請し、1 件でも新規採択された者は除外する。
- ◎ 2026 年度科研費で複数種目に申請し、評価が出ていないものがある場合は、その評価が不採択「A」、「B」、「C」であることを条件に第2回に申請する。
- ◎ スタートアップ研究費との重複申請は不可とする。
- ◎ 外部資金のみでの雇用であっても専任義務がなく、自己裁量による独立した研究活動のエフォートが認められている場合は申請可とする。

(4) 申請書類

- ◎ 別紙3 「2026年度 ネクストステップ研究費使途予定申告書」
- ◎ 2026年度科研費申請結果がわかる書類 (評価・評定要素の平均点) ※1
※1 科研費に応募の際「結果を開示しない」にチェックを入れてしまうと、本事業の応募は不可となりますのでご注意ください。
- ◎ 労働条件通知書 (写し)

(5) 申請締切

- ◎ 2026年5月8日 (金)

(6) 提出先

- ◎ ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン (以下 DEI という。) 推進センター
- ◎ 申請者は Google フォームで申請してください。その際に申請書類を PDF にして Google フォームにアップロードの上、DEI 推進センターへご提出ください。Google フォームは公募開始と同時に DEI 推進センターの WEB ページでお知らせいたします。

(7) 審査

- ◎ DEI 推進センター内に設置する審査会において書類選考を行う。
- ◎ 選考過程において追加書類の作成・提出や面接を実施することがある。
- ◎ 採択日は2026年6月中旬(予定)、経費の配分日は7月1日付け(予定)。
- ◎ 科研費の評価・評定要素の平均点を基に審査、上位の者を採択とする。
- ◎ 応募者多数の場合は女性教員比率の低い部局を優先する場合がある。

(8) 年度報告

採択者は別途指定する方法により、報告書を作成すること。

(9) その他

- ◎ 採択者は DEI 推進委員会及び DEI 推進センターからの下記のような DEI 推進に係る依頼に可能な限り協力すること。(採択において考慮する場合もある。)
シンポジウム・セミナーの参加やポスター発表、アンケートの回答、広報資料への寄稿等
- ◎ 本制度により得た研究成果を発表する場合は、本制度により 支援を受けたことを必ず明記 すること (別紙 Q&A に例を示しています)。